

## 人工知能技術コンソーシアム

### 平成 29 年度事業計画

#### 1. 平成 29 年度の活動

平成 27 年度に国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター内に設置した人工知能技術コンソーシアムとして、人工知能技術や IoT・ビッグデータ活用に関心のある複数の企業を集め、ビッグデータ活用の事例や人工知能技術の活用事例、動向の共有、意見交換などを行った。活動の一環としてワーキンググループ (WG) を設け、一部の WG では実証プロジェクトの立案、試行、協業も進められ、共創的価値創出に向けて一定の効果が得られた。

平成 29 年度は、継続 WG と新たに設立した WG において、会員組織間での共創的価値創出をより加<sub>二</sub>せ、AI 技術やビッグデータ活用の成功事例を多く創出することを目指す。具体的には、多様な業種により構成された WG の中で、共通の課題・ユースケースを共有し、データとニーズと技術シーズとのベストマッチングを模索し、アクションプランを作成する。またデータ活用の手法・技術の勉強会を実施し、産総研技術の最新動向を共有し試行するなど、データ活用の知識やノウハウの共有と実践を促進させ、人工知能技術とデータ利活用を強化する。コンソーシアムの活動成果はシンポジウムや Web ページなどを通じて外部発信し、人工知能技術の普及を促進していく。

#### 2. 活動内容

コンソーシアムの活動内容は主に以下の 4 点である

##### ① ニーズ、ユースケース、データと技術シーズのベストマッチング

法人会員がそれぞれの課題や強みを紹介し、お互いの理解を深める場として運営委員の承認を受けた WG を設立し、その中で参加会員間の協業の可能性とアクションプランの策定を行う。任意参加となる個別相談会の時間を設け、興味のある会員同士が協調、共創して各 WG の運営を進めていく。

##### ② 人工知能技術とビッグデータ活用の実証とビジネスモデル構築

人工知能技術とビッグデータ活用について、実証プロジェクトの検討とフィールドの選定や実証実験を試行する。これにより成功事例や失敗事例についての検証を通じて、人工知能技術の社会実装の進め方や課題解決の方法論を共有し、ビジネスモデルの構築も目指す。

##### ③ 人工知能技術とビッグデータ活用に関する最新動向の勉強会と情報共有

人工知能技術 (AI ツールや AI リビングラボなど) やビッグデータ活用事例に関する最新情報の収集、勉強会と情報共有の場を提供する。

##### ④ 外部向けイベントの実施

不定期にシンポジウム等のイベントを企画・開催するとともに、Web ページなどを通じて広報活動も行う。

### 3. 活動計画

運営委員会および各 WG 会合をおよそ 1 ヶ月に一回程度実施する。また全体会議（総会及び定例会）を年 4 回以上実施、各 WG の活動報告とコンソーシアム全体の運営に関する議論を行う。年に数回程度、外部参加者も交えた公開イベントを開催し、各 WG やコンソーシアムの成果の発信を行う。

### 4. ワーキンググループ (WG)

各 WG は会員から構成メンバーを選出し、活動計画、予算案について運営委員の承認を得て活動を開始する。現在予定している WG は以下の通り。必要に応じて新たな WG を追加することもある。

- ・ Human Life WG
- ・ データ・知識融合 WG
- ・ データプラットフォーム WG
- ・ 製造業 WG
- ・ A I リビングラボ WG
- ・ A I ツール WG
- ・ データマイニング WG
- ・ 関西支部 WG
- ・ 九州支部 WG
- ・ ユースケース WG

### 5. コンソーシアムの運営

平成 29 年度の運営委員会は以下から構成される。

会長：本村陽一（産業技術総合研究所）

副会長：豊田俊文（東急エージェンシー）、武井明則（PwC ビジネスアシュアランス）

運営委員：

西尾義英（シナジーマーケティング）、松岡竜大（シグマクシス）、杉山邦洋（ブイシネク）、猪谷誠一（博報堂 DY ホールディングス）、安松健（オージス総研）、原田奈弥（豊田自動織機）、石田和宏（ロジックデザイン）、岩本 圭介（株式会社 NTT データ数理システム）、玉川弘子（大阪商工会議所）、小野寺隆（ベルズシステム）、安岡寛道（野村総合研究所）、松村直樹（野村総合研究所）  
事務局：高松倫芳（産業技術総合研究所）

## 6. スケジュール

全体会議スケジュール（予定） \*詳細は別途 HP の新着情報に掲載

- ・ 第1回会合 4月28日 (総会を同時開催する)
- ・ 第2回会合 7月21日
- ・ 第3回会合 9月5日
- ・ 第4回会合 2月9日 (総会を同時開催する)

外部向けイベントの開催予定

- ・ WG 見本市 (4月)
- ・ 各WG主催のオープンイベント (5月以降 各WGにて計画・周知)
- ・ 外部学会・展示会等への出展・セミナー実施 (9月～1月)
- ・ 実証実験、コンテストの開催 (10月～2月)

## 7. 会費の用途 (予算)

- ・ WG 活動費
  - イベント開催・運営費
  - 活動出張旅費
- など
- ・ サーバ運用費
- ・ イベント開催・運営費
- ・ 物品費
- ・ 活動出張旅費
- ・ 役務

など

平成 29 年度運営費に係る収支予算（案）

単位：円

	費目	金額	備考
収入	会費	12,000,000	100,000×120 口
	合計	12,000,000	

単位：円

支出	WG 活動費	8,000,000	800,000×10WG
	その他運営費	4,000,000	* 内訳は下記の通り
	合計	12,000,000	

* 内訳	サーバ管理費	300,000	
	講師謝金及び交通費	300,000	
	イベント開催運営費	1,500,000	
	会議費	200,000	
	調査活動費	1,500,000	
	雑費	200,000	
	合計	4,000,000	